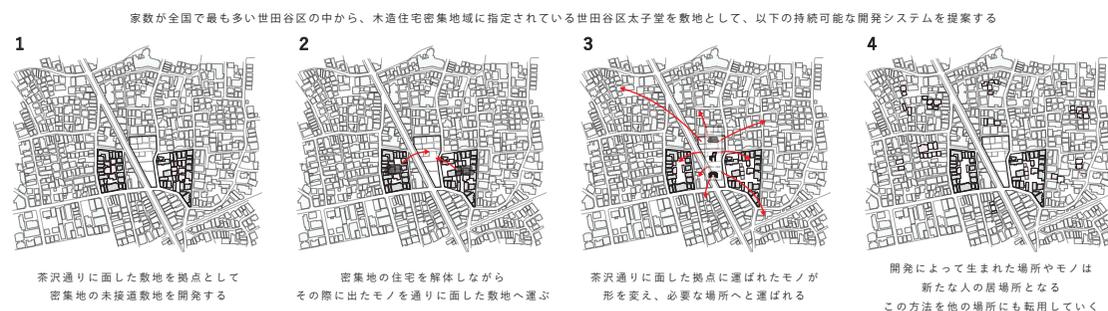
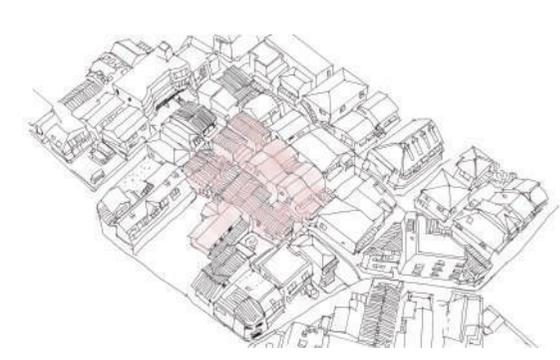


モノたちのセカンドライフ



木密地域の未接道敷地の計画

木造住宅密集地域の未接道敷地にある空き家を都市の第二の拠点として更新する計画。この地域にお店を営んでいる人や個人が空き家を借用し、生産活動や展示ができるよう第二の拠点として利用できるよう計画する。また、解体・改修によって生まれたモノは家具や部材自体として生まれ変わり、別の場所へ運ばれることによって新たな振る舞いをみせる。普段出会わない人々が今まで利用されていなかった場所で開催し、新たな関係を構築することで、地域の新たなネットワークを形成する。



通り沿いの拠点の計画

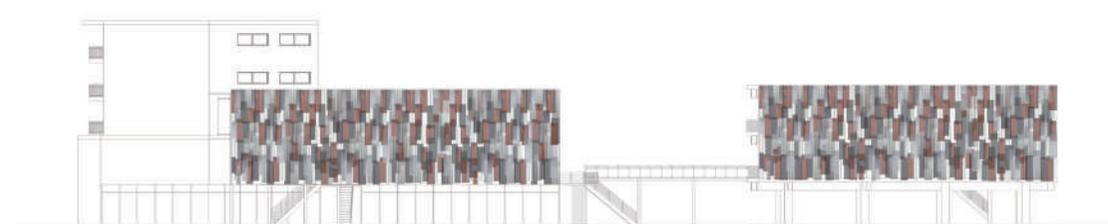
解体によって生まれたモノが一時的に運ばれ、新たなモノへと生まれ変わる場所として工房、設計事務所、資材庫を計画する。また、まちづくりやモノの使い方について話し合うことのできる、地域、人、モノの拠点として、集会所を計画する。大通り沿いには密集地の空き家の屋根が再利用されてファサードを形成し、密集地のモノが通り沿いまで表出する。



資材庫パース



工房・設計事務所パース



西側立面図